

# 若者の夢を奪い、頑張る人の足を引っばる 高すぎる税金と余分な規制と戦う。

既得権益に縛られた自民党の「大きな政府」、そして非現実的な野党の「反対ありきの政治」。

この停滞を打破できるのは維新しかない。

「保守で小さな政府」「改革保守」の旗を掲げ、頑張る人が正当に報われる社会を築く。

身を切る改革

統治機構改革

教育無償化

公平な社会保障

## 1 主権国家の憲法を

前文の「諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した」という部分は、敗戦国として武装解除された我が国が占領下で国家の安全保障、いわば生殺与奪の権を連合国に委ねるといふ文意を含みます。このくだりは必ず改正すべきです。

次に第9条です。外国からの武力侵略に対して、主権と独立をまず自国で対処する。そのための実力組織の存在が憲法に明記されていないことは、主権国家としての欠陥であり、立憲主義の観点からも不備と言えます。実力組織の存在を憲法に明記し、内閣や法律に基づいて行動する組織として規定すべきです。その呼称がどうであれ、国際法上の軍隊としての定義を満たす組織の存在を憲法に盛り込む必要があります。

## 2 誰もが専業主婦「夫」に

子どもが生まれると保育施設に預け、親が働くことが一般的ですが、保育施設には1人あたり月12万～25万円の税金が投入されています。

そこで、保育施設を利用せず家庭で子育てをする場合、子ども1人あたり月8万円を支給する制度を提案します。この制度が実現すれば、家庭での子育てを選択できるようになり、税金の削減、保育士不足の解消、待機児童問題の改善につながります。また、親が子どもと過ごす時間を確保でき、成長をじっくり見守ることができます。

フィンランドやノルウェーでは同様の制度が導入され、出生率の維持や育児環境の向上につながっています。日本でも、家庭での子育てを安心して選べる社会を実現すべきです。

## 3 成長を取り戻す

競争力を欠く企業への補助金や優遇税制を見直し、規制緩和による新規参入の促進が不可欠です。スタートアップが資金調達しやすい環境を整えるため、日本版ジャンク債市場の創設や格付け機関の育成を進めるべきです。さらに、労働市場の柔軟性を高めるため、解雇規制の緩和と失業者向けの再教育支援を強化し、人材の最適配置を促します。加えて、政府は未来志向の公共投資を推進し、水素エネルギーの開発やインフラ整備を加速することで、脱炭素化とエネルギーの安定供給を両立させます。また、交通網の整備期間を短縮し、地域経済の活性化を早めることも重要です。これらの施策を一体的に実施することで、経済全体の活力を高め持続可能な成長を実現できます。



にし  
の  
西野  
こういち

大阪維新の会の創設に参加し、改革の志を共にする仲間と歩んできました。その後、衆議院議員として国政に送り出されたとき、大阪の改革を日本全体へと広げるために尽力しました。しかし、11年前に党を離れる選択をしました。深慮が足りず、多くの方の期待を裏切ることになったことを、今でも痛感しています。

その後、落選や無所属での活動を経験し、自分自身の甘さや、仲間と活動できることのありがたさを思い知らされました。

そして3年前、維新の一員として戻ることとを許されました。迎えていただいたことに、深く感謝しています。もう一度皆さまで歩めることが、何よりの喜びです。切磋琢磨しながら、大阪、そしてこの国の未来のために尽力できることを、誇りに思っています。

この間に、維新はさらに成長し、多くの新たな仲間が加わりました。大阪の改革は着実に進み、日本全体へと広がろうとしています。私も、これまでの経験を活かし、さらなる責任を果たしていきたいと考えています。

私は、この思いを当然のように口にできる立場ではありません。だからこそ、これからの行動で示し、信頼を取り戻せるよう全力を尽くします。どうか、未来とともに切り拓かせてください。

心からお願いです。  
何卒、よろしくお願いいたします。

西野弘一

プロフィール

西野弘一(にし の こういち)

- 大阪府議会議員 元衆議院議員
- 東大阪生 清風学園中学校 卒業
- 中央大学法学部法律学科 卒業
- 医療経営士 宅地建物取引士
- 清風学園同窓会会長 中央大学商議員
- 社会福祉法人理事 学校法人評議員
- 全日本スキー連盟公認指導者・検定員
- 「著書」 憲法の憂鬱



YouTube

西野弘一氏を推薦します

衆議院議員 西田 薫

大阪府議会議員 西林 克敏